



蒲田工業（蒲田善明社長）は、6月28日に創業100周年を迎え、全社を挙げて喜びの気持ちを表した。新型コロナウィルスの影響により、記念パーティなど大々的な記念式典は控えられたものの、その節目を祝う全体会朝礼がオンラインで行われ、ほぼ全員が参加し喜びを分かち合つた。

同社を代表して蒲田社長のあいさつが行われ、その1世紀にわたる歴史の流れを紹介。「大正10年（1921年）私の祖父である蒲田善蔵が、羽田調査から独立し蒲田商店を創業してから100年が経過した。その100年の間には、関東大震災、昭和恐慌、太平洋戦争、ドッジライン、東

京オリンピック後の不況、オイルショック、ブル崩壊、リーマンショック等々数々の衝撃に襲われた。それら荒波をその都度、取引金融機関や各仕入先の支援により乗り越えることができた。本当に心よりの感謝の気持ちを伝えた。本当に喜んでいた。これまでの歴史に本日を迎えたことで、無事に本日を迎えた。本当に嬉しい。これら有数の代理店」とたたえられたベルト事業を皮切りにさまざまな事業を展開

「日本有数の代理店」とたたえられたベルト事業を皮切りにさまざまな事業を展開

変化に応じた新しい優位性創造

蒲田工業 6月28日に創業100周年

蒲田工業

6月28日に創業100周年



専務の善太郎氏

1990年代にスタートしたクリーン環境構築事業。クリーン環境下での製造が求められる時代が始まったころからクリーンアース。クリーンルームの設計施工を事業化。25年以上の歴史の経て同社の主力事業となった

影響で記念パーティなど催し事は開催できなかつたが、「100周年を盛り上げよう」という思いで、この企

業の入口付近の壁に飾られよう頑張りたい。

100周年記念の装飾

を作ったのは、富士事業部の副部長が富士事業所の社員と協力して手づくりで同社の蒲田善太郎専務取締役は「子どものころから蒲田工業に接してきた。多くの先輩方が温かく迎えてくれ、諸先輩方に感謝しながら、次の100年の礎となるよう頑張りたい。

経営理念や行動指針の根

歩み続けていく」とあらん限りの感謝の気持ちを言葉で伝えた。

続いて、同社の蒲田善

太郎専務取締役は「子ど

ものころから蒲田工業に接してきた。多くの先輩

が温かく迎えてくれ、

諸先輩方に感謝しながら、次の100年の礎となれるよう頑張りたい。

経営理念や行動指針の根

歩み続けていく」とあらん限りの感謝の気持ちを言葉で伝えた。

続いて、同社の蒲田善

太郎専務取締役は「子ど